

緩和ケアセンター ニュースレター Rainbow Bridge

VOL.1
2020.June

緩和ケアセンター開設2年目へ

緩和ケアセンターは、

- ① 緩和ケアセンター外来
- ② がん看護外来
- ③ 緩和ケアチーム
- ④ 緩和ケア病棟



の4つの組織を有機的に統合した組織です。当院に通院中・入院中の患者さん・ご家族のみならず地域の方々を対象に、病気の時期に関わらず、いつでも専門的な緩和ケアを受けることができるよう取り組んでいます。

皆様のご協力により、緩和ケアチームでは昨年度206件の新規介入をさせていただきました。

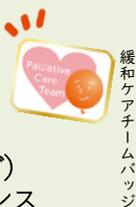
患者さんの全人的苦痛に主治医や現場の看護師の皆様とともにチームで積極的に関わらせていただき、外来緩和ケア管理料(290点)、緩和ケア診療加算(390点)の算定にも繋げていきたいと考えています。

当院は2020年4月1日、北九州市内唯一の「地域がん診療拠点病院高度型」に認定されました。今後もより一層がん医療・緩和ケアを充実させていく使命を担っています。

今年度は、センター長の尼田をはじめとする新たなメンバーで院内外へ更なる緩和ケアの充実を目標に活動を広げていきたいと思ひます。

■ 緩和ケアチーム活動

- 月曜日…16:00～チームラウンド
- 水曜日…15:00～オピオイド回診
(医療用麻薬スクリーニング)
- 金曜日…16:00～チームカンファレンス



■ 事例検討会のお知らせ

毎月第3月曜日 18:30～ 別館6階講堂

地域の医療従事者の方々と一緒に事例検討会を開催しております。現在COVID-19流行のため開催を一時中止しておりますが、再開次第お知らせいたします。

がん看護外来活動

日頃よりがん看護外来の活動にご協力をいただきありがとうございます。

昨年度、「がん患者指導管理料(イ)」については、936件を算定することができました。初回告知時のみならず、再発転移や治療方針変更時などにも同席し患者さん・ご家族へのサポートをさせていただくことも可能です。可能な限り時間調整をして活動を充実して参りますので、事前に予約を入れて頂けますと幸いです。

更に、今年度は『つらさのスクリーニング』を進展させ、現場で主治医・看護師をはじめとした皆さまとSTAS-Jを使用したカンファレンスを行い、「がん患者指導管理料(ロ)」の算定件数の増加を目指します。適宜学習会などを計画していきますので、ご協力よろしくお願ひ致します。

がん患者指導管理料(イ)

- ・医師・看護師が協同して診療方針等を決定
- ・500点/回
- ・患者1人につき1回に限る

がん患者指導管理料(ロ)

- ・医師または看護師が患者の心理不安軽減
- ・200点/回
- ・患者1人につき6回まで
- ・対象はがんと診断された患者でSTAS-J(日本ホスピス財団HP参照)で2以上の項目が2項目以上該当する者

緩和ケアリンクナース会議、毎月開催へ!

今年度より、緩和ケアリンクナース会議が隔月開催→毎月開催へ変更されました! 緩和ケアリンクナース会議では、各現場での基本的緩和ケアの知識・技術の向上と専門的緩和ケアとの橋渡しを目標に活動をしています。

今年度は『一言日記帳運用推進係』『カンファレンス充実・学習係』『IC同席・苦痛スクリーニング体制整備係』に分かれて活動をしていきます。

毎月開催となったことで、よりタイムリーに知識の共有や事例検討・カンファレンスの開催を行ない、基本的緩和ケアの充実を図っていきたく思っています。